

50 卷 3 号掲載の研究論文（技術調査報告）の正誤表

「2013年11月4日に東日本として初めて注意喚起が実施された千葉県PM2.5高濃度エピソードの要因推定」

頁・行数	誤	正
p.159 L9	Lvは0.4～5.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ の範囲で、平均値は1.7 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。	Lvは21.8～250.7 ng/m^3 の範囲で、平均値は85.4 ng/m^3 であった。
p.159 L11	Lvのそれぞれの濃度は5.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、3.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ で・・・	Lvのそれぞれの濃度は250.7 ng/m^3 、179.3 ng/m^3 で・・・
p.160 L4～5	Fig.7に示したような変動となり、0.2～2.2 $\mu\text{gC}/\text{m}^3$ の範囲で、平均値は0.76 $\mu\text{gC}/\text{m}^3$ であった。11月3日と4日におけるLv-C/OCは28.8%、19.4%であった。	Fig.7に示したような変動となり、0.01～0.11 $\mu\text{gC}/\text{m}^3$ の範囲で、平均値は0.04 $\mu\text{gC}/\text{m}^3$ であった。11月3日と4日におけるLv-C/OCは1.4%、1.0%であった。
p.162 R15～R16	Lv（炭素換算）が有機炭素（OC）の大部分を占めていた。	Lv（炭素換算）が有機炭素（OC）の大部分を占めていた。
p.159 Fig.7		